

2016年11月20日(日)山形新聞に掲載！！

最上峡 もっと知って 戸沢・活性化委 フォーラム

最上川・陸羽西線活性化委員会（高橋茂会長）が主催する「最上峡の歴史・文化フォーラム」が19日、戸沢村中央公民館で開かれ、郷土史家の大友義助さん（新庄市）が最上峡を文学的観点から解説したほか、パネル討論で観光の課題を検討した＝写真。

JR陸羽西線沿線の景観保全や地域活性化に取り組む同会は、庄内町、戸沢村の有志で昨年結成。フォーラムは活動報告と多くの人に最上峡について知ってもらうため初めて企画した。

最上、庄内の両地域から約50人が参加した。大友さんは古今和歌集や夫木和歌抄に最上峡を詠んだ歌が登場するほか、松尾芭蕉、正岡子規ら有名な俳人が題材に最上峡を選んでいることを紹介。「重要文化財に指定したり、景観保護条例を制定したりして地域が誇れる観光資源をつくらなければいけない」と強調した。

続いて、高橋会長や近畿日本ツーリストから戸沢村に出向し、村観光アドバイザーを務めている石田学さんら4人がパネル討論を行



った。「月山ジオパークは住民への周知不足などがあり認定を見送られた。来年以降の認定を目指したい」「戸沢村の観光は通過型になりがち。宿泊の受け入れ態勢を整えることが必要」と、両町村の観光振興について語り合った。